



# 都の西北

2016年(平成28年)10月1日

早稲田大学校友会 昭島稲門会会報 第3号



## 現役学生と和やかに交流

平成28年8月27日午後3時から東中神・翠鳳楼において、現役学生と会員の交流会を開催しました。今回は台風の接近によるあいにくの荒天にもかかわらず2名の現役学生に参加していただき、18名の会員と交流を深めました。

冒頭、挨拶に立った梅田正宏会長が「雨の中、現役学生の皆さんに来ていただけるかドキドキしていました」と笑いを誘い、和やかな雰囲気ですスタート。最大で70歳以上も年齢差のある参加者でしたが、そこは同じワセダマン。母校を共通の話題に話を弾ませました。

現役学生の吉村薫さんは、先進理工学部4年生。地元昭島市立小・中学校、都立八王子東高校出身で、来年4月に大学院教育学研究科への進学を予定しているそうです。「教員免許を取得したあとの将来はまだ決めていません」と吉村さん。

もう一人の木村直登さんは、政治経済学部3年生。昨年11月の総会につづいて出席していただきました。早稲田大学高等学院出身で高校時代に生徒会長を務めていたという木村さん。「昨年11月から7月まで地方自治を勉強するためにスイスへ留学していました」

現役学生の挨拶のあとには、会員が一人ずつ順番に近況を報告。最年長の小念輝久さんをはじめ、世代の違う皆さんの話は、現役学生にとっても興味深いものだったようです。

交流会の最後には、恒例の校歌を斉唱しました。次回の交流会には、皆さんも奮ってご参加ください。



## 昭島稲門会 第32回総会

日時：平成28年11月19日(土)午後2時～午後5時

会場：松原町コミュニティセンター(JR昭島駅より徒歩5分)

昭島稲門会第32回定期総会を開催します。会員の皆さまはぜひご参加ください。



## この人に聞く

### ヒゲの幹事長の奮戦記



#### 山中 皓博(昭43 理工) 稲門会への入会経過

幹事長の任をうけて2年近くになろうとしています。なにせ現役時代は自分で手を動かすことはしたことがなかったので、初めは戸惑うことばかりでしたが、会長はじめ前幹事長の杉崎さんや皆様のおかげで何とかここまで務めることができました。

私は永年ゼネコンに勤めていたので、全くといってよいほど地元のことを知りませんでした。6年前に西東京市から越して来ましたのでなおさらです。会社をリタイアし、さあこれから地元で何を考えた時、早稲田のOB会なら何とか溶け込めるだろうとPCをたたきましたが出てきません。大学の校友会に電話して杉崎幹事長の連絡先を教えてください、恐る恐る電話したのが入会のきっかけでした。退職したサラリーマンには、私のように地元との繋がりが無い人が多数いると思います。そんな人たちの受け皿を作っていくのも私たち稲門会の使命かなと思っています。

会報を発刊しホームページもできました。少しずつでも知名度をあげていけば、市内には500人以上のOBが在住するのですから、会員数も増えていくのではと思っています。

#### 苦労したこと、困っていること

私の場合入会してから1年足らずで幹事長をお受けしたため、それまでの慣例を全く知らず、やや戸惑いを感じました。特に近隣の校友会とのお付き合いは勝手がわからず、会長にもずいぶんご迷惑をおかけしました。今、一番苦労しているのはPCの操作です。会社にいた頃は、周りの若い社員に聞けばたいいのことは解決しましたが、今一人で作業していると、ちょっとした応用問題が解けず、時間ばかり費やして少しも前に進みません。昨年、IT専門家の富樫さんが当会に入会され、役員会でパソコン教室を開き教えていただいていますので、この点も多少は解決するのかなと期待しています。

会の充実のために、ゴルフ会やカラオケサークルを

復活させ、定期的に活動しています。各サークル活動については、最後のページに紹介していますので、皆様、是非ご参加ください。

会報を継続して出すためにはお金がかかります。会費だけでは賄いきれなくなってきており、なんとか大学からの強化補助費をいただくべく現在努力中です。お蔭様でこれらの活動が、徐々にですが実を結びつつあるように感じています。

#### 趣味は旅行とゴルフ

旅行については、現役時代は仕事の関係でその日のうちに戻れるところにしか行けませんでした。その反動か退職後の3年間はずいぶんあちこち歩きました。特に印象に残っているのはケニアです。ツアーで申し込んだのですがナイロビ空港に着いてみると私たち夫婦1組しかおらず、1週間貸切状態であちこちの国



立公園でサファリを満喫することができました。目の前で豹がバリバリ音を立てて獲物を食べているのを見たり、ヌーの集団移動には興奮しました。ゴルフの方は仕事のお付き合いで40代に始めましたが、さっぱり上達せず、今でも100を切れば大喜びです。

#### 私の自慢の一つ

それは、5歳から18歳の10人の孫です。実は、私は13年前に妻を癌で亡くし、還暦のクラス会で再会した中学の同級生と6年前に再婚しました。先妻の間には子供が2人孫が1人だったのですが、再婚した相手が子供4人に孫が8人いたものですから、いっぺんに大家族になってしまいました。お正月などは我が家に約20人が集まり大騒ぎです。孫たちと遊べるのも今の内かなと、この夏も千葉に海水浴に行ったり、奥多摩でラフティングをしたりと大いに楽しんでいます。こんな頼りない幹事長ですがこれからもよろしくをお願いします。

# 昭島の秋を彩る 昭島古式薪能

副会長 佐藤 清(昭47 文学)

昭島市の秋の文化行事としてすっかり定着した「昭島古式薪(たきぎ)能」。今年ではや9回目を迎えました。この薪能が第1回目からすべて稲門同窓のワキ方能楽師によってプロデュースされているのをご存知でしょうか。



「昭島古式薪能」は市民会館文化事業協会が主催する事業で、私もその実現に関わったことから個人としても大変思い入れの強い事業です。毎年9月の第4金曜日に開催されますが、篝火への火入れ式には横田基地司令官なども袴姿で参加し、また能の始まりを告げる能奉行役は長袴に烏帽子姿で北川市長が務めることになっています。

薪能は近年全国3百か所以上で開催されていると言われますが、昭島で行われる薪能は他の薪能とは一線を画すものです。一般的に薪能はその殆どが大きな電源を使用して舞台照明や音響をしつらえ、大人数の観客を動員するものとなっています。

しかし昭島の薪能は観客数も限定し、演者の肉声と生の楽器の音が観客に届くよう十分に配慮されています。「古式薪能」と銘打つとおり、照明は篝火と蝋燭を基調にし、薪能の幽玄な雰囲気大切にしています。

昭島の薪能を「古式薪能」として発想、企画し、毎年の番組編成から演者の選定まで一切切を切り盛り、かつ舞台でワキを務めるのが第一文学部演劇学科出身の宝生流ワキ方能楽師、重要無形文化財総合指定保持者の高井松男です。

彼とは入学以来既に50年近くの付き合いになりますが、文化事業協会で薪能に取り組もうと決めたのもそもそも彼が身近にいたからです。

また、彼がワキ方の能楽師であったことも幸いでした。シテ方には観世流、宝生流、金春流、喜多流、金剛流の5つの流派がありますが、同じ演目でも流派ごとに演出が異なります。ワキ方の能楽師はシテ方に専属する訳でなく、どの流派の舞台にも出演します。演目ごとにどの流派の演出が最も面白いか熟知しています。そんな彼がプロデュースするからこそ、昭島の薪能はいつも華やかで見応えのある番組になるのです。

能舞台は市民会館の前庭に設営されます。通常、能舞台の正面奥には老松が描かれた鏡板がセットされますが、昭島の能舞台では前庭の大ケヤキがその老松の替わりとなります。この大ケヤキが誠に素晴らしい雰囲気醸し、幽玄さを際立たせています。

今年の演目はお馴染みの「紅葉狩」でしたが、来年の第10回記念能は弁慶の勸進帳で有名な「安宅」を予定しています。狂言には人気絶頂の野村萬斎師の出演が既に決まっています。

「昭島古式薪能」は、いまや商工会や観光まちづくり協会、また自治会連合会や老人クラブ連合会など多くの団体が後援し、市民が支える薪能となっています。来年には我が昭島稲門会も後援に加わる予定です。稲門会員の皆さんにもぜひご高覧いただき、その魅力に触れていただければと思います。

能 紅葉狩  
鬼捕

昭島古式薪能

2016年9月23日(金)  
【会場】KOTORIホール(昭島市民会館)前庭  
※南天町老人ホールで行います。  
【開演】午後6時 【開場】午後5時15分  
【入場料(全席指定)】  
S席:5,000円 A席:4,000円  
6月25日(土)発売開始

狂言 附子

## サークルと活動の紹介

昭島稲門会のサークルと活動の一端をご紹介します。

### お花見ハイキング～あきる野市光厳寺へ～



花曇りの4月2日(土)午後、参加者9名が武蔵五日市駅に集合。檜原街道を西へと向かいました。しばらく進むと辺りは郊外の爽やかな風景となり、咲き始めた桜が丘陵の斜面にちらほら見られます。2キロほど歩いたところで檜原街道から離れ、戸倉の集落への坂道へと登りになります。

光厳寺の山門までの急坂は後期高齢者にはかなりきついのですが、門前に幹の極太な樹齢500年の山桜の樹が姿を現しました。しかし花が一つも咲いておらず、一同がっかり。あきる野市の山地は昭島より開花時期が数日遅く、さらに山桜はソメイヨシノより多少遅く咲くということでした。

境内を一巡したり記念撮影をしたりして、いつもの東中神の懇親会場へおもむくべく武蔵五日市駅へもときた道に戻りました。山の方へ花見に行くには来年は多少遅めの日程がいいのかもしれない。(菅野記)

### 毎月「拡大役員会議」を開いています



会員の皆さんが楽しんで行事に参加していただけるように、新入会員が増えるように、会が発展し充実していくように、毎月、役員会議が開かれています。ここでは会長、幹事長から母校や三多摩支部の行事に

参加した模様が報告されたり、会の直近の課題や行事内容について意見が交わされています。

出来るだけ多くの会員の力を結集するために2年前からサークルの幹事や会報の編集担当者も参加し「拡大役員会議」として、ときにはパソコンの研修などもしています。(清水記)

### 好天、微風のもと春のゴルフコンペ



いつもの大月の花咲CCで、5月8日(日)開催。7名が参加(写真)、2組でのコンペになりました。好天、微風の好条件で、各ホールとも待たされることなくそれぞれプレイに専念でき、楽しいコンペになりました。ベストグロスは、佐藤 清さんの89、さすがです。優勝は、新ペリアのハンディに恵まれた渡部でした。風呂でさっぱりした後、中央道が混む前に昭島に戻り、翠凰楼で成績発表、ニアピン表彰と懇親会で楽しみました。

次回秋のコンペは、10月12日(水)花咲CCで開催の予定です、秋晴れが期待できる時期です。皆さん、一緒にゴルフを楽しみましょう。(渡部記)



### 映画鑑賞会を立ち上げました

6月12日(日)会員6名でMOVIX 昭島にて上映中の「海よりもまだ深く」(是枝裕和監督)を鑑賞しました。劇場での映画鑑賞は皆久しぶりで、発案者の西川さんは20年ぶりとのことでした。

出演者は皆芸達者で、各場面の演技に引き付けられました。叶わぬ夢を追いつつ、妻子と別れざるを得なかった冴えない主人公を演ずる阿部寛に自分を重ね合わせてドキリとしたり、その母親役を演じた樹木希林の親心に亡き母を思い出したりしました。

それぞれ皆悪意は無くひたむきに生きているが、それぞれの立場や気持ちが噛み合わないで容易に破たんに至る人生の複雑さをさりげなく、切なく描いた秀作でした。

鑑賞後、映画館の隣の中華料理店「グランチャイナ」にて懇親会を行いました。(梅田記)

## 鑑賞会の第2回は3Dで楽しむ



第2回映画鑑賞会は、7月18日(海の日)にMOVIX 昭島で会員6人が出席して行われました。今回は「アリスインワンダーランド・時間の旅」です。皆さん子供の頃から良く知っている童話「不思議の国のアリス」をモチーフにした、ファンタジー映画です。本物の映像とCGが非常によく合成され、不思議な世界に引き込まれます。今回は3Dで鑑賞しましたので、さらに迫力ある画面を堪能することが出来ました。(山中記)

## 回数ではダントツ「早稲田カラオケ倶楽部」



歴史(?)の古さと開催回数については、昭島稲門会のサークルの中ではダントツです。倶楽部の「縛り」もきわめて甘く、毎回、月の最終日曜日の正午に、当日都合のつく人が昭島駅北口駅前のカラオケ「ムーン」に集まって、2時間ほど、順に好きな歌を勝手に歌って解散するスタイルを、ここ10数年続けています。

「紺碧の空」をオープニングにして、エンディングには「都の西北」の合唱でしめています。ノンアルコール飲み放題のドリンクバー付きで経費は千円ちょっと。

他の中年カラオケクラブと違って、新曲の披露は滅多にありません。ほとんどが超懐メロで、かつては村田英雄・吉幾三・千昌夫・大川栄策・フランク永井・裕次郎ものの演歌が主流でしたが、メンバーが若返ったせい最近では谷村新司・中島みゆき・さだまさし調のものが参入してきました。歌のうまい下手は問いません。参加するのに意義があるのデス。ぜひ冷やかに覗いてみませんか?(福田記)

## 三多摩支部会長会に出席



2016 早稲田大学校友会東京三多摩支部会長会(定期総会)が、去る8月28日(日)福生市の熊牛会館(会議)及び幸楽園(懇親会)で行われました。

会議には26稲門会から会長、幹事長など56名が出席し、さらに来賓として大学から佐々木校友連携担当課長、校友会から大島常任幹事が出席されました。

会議のあと、懇親会に移り大いに盛り上がり、校歌斉唱でめでたくお開きとなりました。(山中記)

## 入会しました 私の曲がいつか電波に・・・ 岩田三四郎(昭和48・理工)



今年から稲門会に入会させていただきました岩田三四郎と申します。5人兄弟の3男、姉が一人いるので第4子で、このように名付けられました。昭和48年理工学部機械工学科から損害保険会社に入り、技術保険と呼ばれる機械保険、組立保険、建設工事保険、土木工事保険を専門にやってきました。この分野の保険は、昭和35～40年代に欧米からもってきたものですが、今では機械設備や各種工事に広く付保されています。

今そしてこれからのこと：音楽が何よりも好きで、特に歌謡曲が大好きです。女性演歌歌手を30年前のオーディオの名機といわれる真空管アンプで聴くと、その息遣いにしびれます。アマチュア無線(コールサインはJF1BYA)、カメラといろいろやってきました。旅行もアラスカに行ったのがきっかけで、それからカナダ、ハワイ、ニューカレドニア、シンガポール、ペナン、ベトナム、エジプト、イタリア、ベルギー、スイス、ドイツ、フランス、台湾、香港、北京、上海、桂林に行きました。国内は、愛車パジェロでどこへでも行きます。現在、心に響く音楽とは何かを分析し研究中で、作詞作曲を手掛けており、近いうちどこかで私の曲が電波にのって流れるのを夢見ております。

## ご存知でしたか? アキシマクジラ

昭島市の目玉の一つは「アキシマクジラ」でしょう。地方に行って「昭島の出身です」というと「エッ、そんな島があったっけ?」なんて冗談に聞かれることもあります。そこで「そう、大昔は海でクジラもいたんだ」なんて切り返していくと会話は楽しく展開していきます。

アキシマクジラの化石は、昭和36年(1961年)8月20日、八高線多摩川鉄橋の橋脚番号11の下流36メートルの地点から、ほぼ完全な形で発見されました。化石の全長は現在の研究で12メートル、ヒゲクジラの仲間でコククジラに近い種類ですが、現在のクジラと異なることから、「アキシマクジラ」と命名されました。

化石の年代については、当時、アキシマクジラが埋没していた地層から約500万年前のものと推定されましたが、地質学の進歩により、現在では、新生代の第四紀の更新世の前期のもので、今から約160万年前の化石とされています。



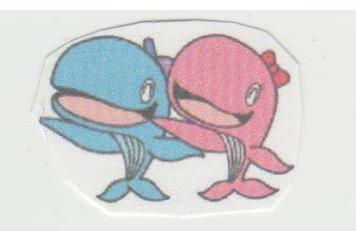
百万年以上前のクジラの全骨格がほぼ完全な形で発掘されたのは、世界でも初めてだと言われています。以前には一部(胸椎と上腕骨)が昭島市役所1階ロビーに常設展示されていましたが、世界的資料として現時点では群馬県立自然史博物館に全てが保存され研究が進められています。

平成31年度に完成予定の「(仮称)教育福祉総合センター」のロビーには、その全体像を再現した原寸大のレブ



リカが展示される予定のようです。また一つ昭島市に観光スポットが誕生するかもしれません。

市内にはアキシマクジラにちなんだ「くじらロード」もあり、マンホールの蓋にもクジラが描かれています。また昭島市民くじら祭が、8月第1土・日曜日に昭和公園陸上競技場と江戸街道を中心に開催され、パレードでは友好都市の岩



手県岩泉町の子どもたちもクジラと一緒に曳きます(この度の台風10号による甚大な被害に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りしております)。花火の打ち上げ、多数の店が並ぶなど盛り上がりを見せています。2年前からは可愛いクジラの絵柄のイメージキャラクター「アッキー」と「アイラン」も誕生し、市のPRに活躍しています。

<写真>上から:クジラ祭りの際に曳かれるクジラの前景と後景。クジラが発見された八高線多摩川鉄橋の周囲の光景。出土地を示す立札。市内の道路の各所で見られるクジラが描かれたマンホールの蓋。

## [ちょっと訪問…会員ルポ]

久保田 <sup>ようしろう</sup> 庸四郎さん [昭和34年一文卒 37年第一政経卒]



今号では、昭島稲門会の創設以来30年間副会長を務められ、今年退任された久保田先輩を訪ねていろいろお聞きしてみました。なお、久保田さんは長年、早稲田大学の商議員として尽くされた功績により、このたび母校より賛助商議員の称号を受けられました。

早稲田高等学院の出身で2つの学部を卒業したという生粋の早稲田マンとお聞きしましたが、「早稲田志望」の動機・きっかけなどお聞かせください。



長兄(法卒)、次兄(理工卒)に倣い早稲田中学から早稲田一筋でした。母校の学究を志し、国史学科に進みましたが、研究室同期のF君の学殖とは競えず、企業就職を考え、経済学科へ学士入学しました。(ちなみに長友F君は文学博士、文学部教授で定年退職されました)

### 卒業後のお仕事は？

一貫して日立製作所・系列会社の総務部門(人事、採用、教育)に在職。この体験は退職後、公務奉仕(家庭裁判所調停委員・法務省更生保護、矯正教育)の任務遂行につながりました。

### 「郷地町」にお住まいですが、昭島市にはいつごろ来られましたか？

今からおよそ50年前の昭和42年(1967年)12月、住宅供給公社の宅地分譲に当選、2年以内に建築の制限があり、生まれ育った下町(台東区)から転居しました。

### 趣味の「居合道」について…



▲居合の型を披露する久保田七段

居合道は日本刀を手に、「いかなる場所に居ても相手の攻めに合わせて勝つ」べく、自ら敵を想定し、一人静かに励む武道です。36歳から始め60歳で教士・七段を取得、昭島市居合道連盟を結成、同好の士と稽古に励んでいます。

[取材 編集委員 福田]



▲マンガの作者はワセダ漫研のOB

**昭島稲門会ホームページ開設****もうご覧になりましたか？**

この3月から昭島稲門会のホームページが開設されています。早稲田カラーのトップページから多様なコンテンツにつながり、母校のニュースや三多摩地区の他市の稲門会のページも見ることができます。会員間、近隣稲門会との交流、情報交換の手段として積極的な活用を期待します。まずは、すぐに下記のURLにアクセスしてみましょう。

<http://akishima-tomonkai.com>

または検索ページで「昭島稲門会」でもアクセスすることができます。

**稲門祭に本藍染のハンカチで協賛**

今年の稲門祭に、我が昭島稲門会は天然の藍で染めたハンカチ20枚を提供することにしました。



昭島で藍染？と思われる方も多いと思いますが、天然の藍で染められたストールやハンカチなどは、昭島の隠れた逸品の一つとなっています。この本藍染

のハンカチは、藍染作家として数々の美術展での入選歴を持つ形山榮衣子氏の指導で制作されていますが、市内の障がい者の就労支援事業としても取り組まれているものです。

天然の藍は非常に気難しく、365日欠かさず面倒を見る必要があるそうです。しかし、この天然の藍で染められたものは、肌にとってもやさしく、市ではこのハンカチを新生児へのプレゼントとしても活用しています。

水が命の藍染ですが、岡山県出身の形山氏は昭島の水の素晴らしさに惚れ込み、市内宮沢町に工房を立ち上げ作品づくりに勤しんでおられます。市民なら周知のとおり、昭島の水道水は東京都で唯一、100%深層地下水で賄われています。このためミネラルが豊富で、夏は冷たく冬は温かく、東京で一番おいしい水道水として有名です。

この素晴らしい昭島の水と天然の藍で染められたハンカチが、多くの方に愛用されるようになるといいですね。

**お知らせ・予告****10月12日(水) ゴルフコンペ**

大月の花咲カントリーで開催。ウィークデーは8000円台で回れます。車を乗り合わせて3組を予定。久しぶりにクラブを握る方もどうぞ。山岳コースでフェアウェイも広く存分に飛ばすことも出来ます。終了後の“反省会”も楽しみです。

(連絡先：山中 090-9953-7404)

**10月15日(土) ハイキング**

埼玉県の六道山の一角を歩きます。午後1時15分に八高線の拝島駅構内、吉野家前に集合。箱根ヶ崎駅で下車し公園入り口から浅間神社を含む園内を散策。昭島に戻ってから市内で懇親会を開きます。

(連絡先：菅野 545-4686)

**毎月最終日曜日はカラオケの日**

昭島駅北口の「カラオケムーン」で最終日曜日の正午から2時間。自分の好きな、得意な歌を存分に歌ってみましょう。

(連絡先：福田 080-5545-7892)

**映画鑑賞の集い**

開催は不定期です。MOVIX 昭島で話題の映画が上映されるときに別途ご案内します。

(連絡先：平田 080-2568-6284)

**編集後記**

ホームページの誕生に合わせて、役員のパソコン研修が始まりました。ページの管理者だけでなく、役員も自らページの充実に参加できるのが狙いです。この会報の編集委員でもある富樫純一さんを講師に、有志5人ほどが硬くなりかけた頭を絞ってフーフー。これからページも進化していくでしょう。

But, little by little! (清水 武)

発行:早稲田大学校友会東京三多摩支部  
昭島稲門会

会長: 梅田 正宏  
196-0031 昭島市福島町2-17-1  
541-6008

[Umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp](mailto:Umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp)

幹事長: 山中 皓博  
196-0024 昭島市宮沢町2-14-39  
544-1933

[Yamanaka-akihiro@nifty.com](mailto:Yamanaka-akihiro@nifty.com)